

知っていますか？ リサイクルの方法

ビン類



ビンのふたは燃えないごみへ

紙ラベルはできるだけ剥がす

ピンはリサイクルへ

ペットボトル



キャップは外しその他プラスチックへ(飲み口のプラスチックは外さなくてよい)

ラベルは剥がしてその他プラスチックへ

ボトルはつぶさず、そのままリサイクルへ
※缶類もつぶさないでください

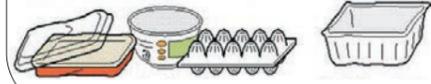
紙類

牛乳パック、菓子箱などは燃えるごみではなくリサイクルへ



その他プラスチック

トレイや卵パックなどでリサイクルマークがあるものは燃えるごみではなくリサイクルへ



リサイクルできないもの

分別	リサイクルできないもの	処理方法
その他紙	防水加工された紙(紙コップ、紙皿など)、圧着はがき、感熱紙(レシートなど)、カーボン紙、ノーカーボン紙、写真、樹脂・アルミコーティング、臭いの付いた紙(せっけん箱、線香箱など)、汚れた紙など	燃えるごみ
紙パック	中が銀色などの色付きのもの	燃えるごみ
ダンボール	プラスチックなどダンボール以外のものが付いているもの	燃えるごみ
缶類	飲料・食品用の缶以外のもの、缶以外の金属製品(スプレー缶、ガス缶、一斗缶、やかん、鍋、フライパン、刃物など)	燃えないごみ
ビン類	ビン以外のガラス製品や割れたもの(ガラスコップ、ジョッキ、割れたビン、陶器、窓ガラス、鏡、電球、殺虫剤のビン、農薬のビンなど)	燃えないごみ
その他プラスチック	容器包装以外のプラスチック製品(ハンガーやコップ、おもちゃなど)、汚れのひどいもの、汚れの落ちないもの、洗剤、食用油などのボトル類、チューブ類、ビニールひもなど	燃えるごみ
白色トレイ	汚れのひどいもの、細かく砕かれたものなど	燃えるごみ

※リサイクルマークがあってもリサイクルできそうなものでも、市で収集しないものがあります。洗っても汚れが落ちないものや、混合材質でできているものは収集しません。特に「その他紙」「その他プラスチック」は注意してください。

未来のために

よりよい環境を未来に引き継ぐために、一人一人がごみの減量化や資源化についても一度考え、取り組んでいくことが大切です。ごみを出さないまちづくりを進め、子どもや孫たちの将来のために、できることから取り組んでいきましょう。



よくある質問 これはリサイクルできるの？

- Q1** 発泡スチロールはどっち？
A1 ダンボール箱などに緩衝材として入っていたものは「その他プラスチック」にリサイクルできます。ただし、魚介が入っていた箱は臭いや汚れがあるため「燃えるごみ」です。
- Q2** 納豆容器は白色トレイ？
A2 納豆容器は「その他プラスチック」です。汚れが落ちにくいときは「燃えるごみ」です。
- Q3** 鍋焼きうどんの銀の容器はどっち？
A3 リサイクルできません。「燃えるごみ」です。



年末年始の大掃除“ごみの減量”を考えて

新年を迎えるに当たり、家庭での大掃除などではたくさんのごみが出ます。この時期に一気に片づけてしまおうと思うと、ごみの減量やリサイクルの意識が低下します。冬休み中の子どもたちと一緒に大掃除は、家族みんなで「ごみの減量」について考えるとても良い機会です。



年末年始のごみ収集日を確認しよう

8月の年末年始情報のごみ・リサイクル・し尿収集日を確認してください。大掃除が終わったとしても、そのごみを処分する方法がないと気持ちの良い新年を迎えることができず、不衛生な状況にもなります。ごみを処分する日も含めて早めにお掃除計画を立てましょう。

衛生センターの混雑状況は？

胆江地区衛生センターでの実績から、年末年始のごみの有料受入の混雑状況を予測してみました。お掃除計画の参考にしてください。(下表参照)

12/25 月	12/26 火	12/27 水	12/28 木	12/29 金	12/30 土 ~1/3 日	1/4 火	1/5 水
通常受入	通常受入	通常受入	通常受入	臨時受入	休み	通常受入	通常受入
混雑	平常	平常	平常	混雑		大混雑	混雑

ごみの減量アイデアを紹介します

アイデア1 水切り



新聞紙でゴミ入れを作り、キッチンの生ごみを乾燥させ、軽くしてから出す



アイデア2 店頭回収



ペットボトルなどは買った店の店頭回収に持って行く



アイデア3 食品ロス防止



冷蔵庫内の在庫をメモして、買い過ぎないようにする



もう一度3Rを見直そう

3Rは、家庭ごみの減量化を進める上で、キーワードとなります。ごみの発生抑制(Reduce)、使える物は再利用(Reuse)、資源となるごみの再生利用(Recycle)。私たち一人一人ができることから3Rに取り組み、ごみはまだ減らすことができます。

正しくリサイクル

本市のリサイクル率は、平成23年度の21・8%をピークに年々減少し、28年度には15・6%まで低下しています。(スーパーなどでの回収量は含まない。) 28年6月に実施したごみの組成調査では、燃えるごみ袋の中に約8割の資源(紙類、ペットボトル、トレイ、その他プラスチック)が、燃えないごみ袋の中には約2割の資源(缶、びん類)が混入していました。これらの資源ごみをきちんと分別しリサイクル

○ごみ・リサイクル出前講座

地域や各種団体を対象とした「ごみとリサイクル」の解説に伺います。

○補助制度などをご利用ください

生ごみ処理器購入の補助制度や資源物の集団回収に対する報奨金制度があります。

■問い合わせ・申込先 本庁生活環境課生活衛生係 (内線 215、216)

ルされることで、年間約190万ものごみが削減されます。本市では地域のリサイクルステーションにおいて、4分類13品目の資源物の収集を行っています。缶類・ビン類・プラスチック類は、容器をきれいに洗って汚れを落としてからリサイクルしてください。